

日本サイバーセキュリティファンドの 第一号投資先企業の決定について

株式会社SIGグループが参画する日本サイバーセキュリティファンドの第一号投資先企業に、国産の従業員向けセキュリティ教育クラウドサービス「セキュリオ」を提供するLRM社が決定いたしました。

株式会社SIGグループ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石川純生）が参画する日本サイバーセキュリティファンド1号投資事業有限責任組合（以下、NCSF）は、従業員のセキュリティリテラシーを高める国産クラウドサービス「セキュリオ」を提供するLRM株式会社（兵庫県神戸市中央区栄町通1-2-10、代表取締役CEO：幸松 哲也、<https://www.lrm.jp/>、以下、LRM）を第一号出資先として決定いたしました。

サイバー攻撃被害の原因として人為的なミスは永年の課題であり、IPAが毎年公表している情報セキュリティ10大脅威^(※1)でも毎年上位10位にランクインしています。従業員向けセキュリティ教育の需要は年々高まっており、セキュリティ教育サービスの市場規模は2024年度に100億円を超えるなど^(※2)、企業規模を問わず実施が拡大しています。

NCSFは、従業員向けセキュリティ教育市場の伸びに合わせ、LRMの近年の業績成長、国産ツールであること、そして、NCSFに参画するL.P.(Limited Partner)企業との事業シナジーが望めることから、第一号投資先企業として決定いたしました。

(※1)IPA「情報セキュリティ10大脅威 2025」 <https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2025.html>

(※2)ITR「サイバー・セキュリティ・コンサルティング・サービス市場2024」



■ 従業員向けセキュリティ教育の必要性とツールの課題

セキュリティ態勢の強化は、EDR(Endpoint Detection and Response)といったツールで防ぐことに加え、システムやデータを扱う人の意識(Security Awareness)を高めることで実現されます。ツールの導入は費用面や導入・運用工数など実行のハードルが高い一方で、従業員向けのセキュリティリテラシー教育(Security Awareness Training)は比較的手軽に実施できることもあり、サイバー攻撃被害の拡大とともに、企業規模を問わず実施が進んでいます。

サイバーセキュリティに関する知識を高めるためのeラーニングやメール訓練などのサービスは日本国内で多数提供されています。近年では外資企業のサービス導入も進んでいますが、LRMが提供する「セキユリオ」は国内で開発・運用されており、日本国内多様なニーズを反映し、日本人に適したサービスとして高い評価を受けています。



■ 国産クラウドサービス「セキユリオ」

セキユリオ (<https://www.lrm.jp/seculio/>) は、セキュリティ教育の実施・分析・繰り返しを、担当者の負担なく実施できるクラウドサービスです。標的型攻撃メール訓練機能、eラーニング機能、セキュリティアウェアネス機能など、従業員のセキュリティ意識を上げる仕組みが搭載されており、月額18,000円から利用することができます。これまでに、従業員10,000名を超える大手企業、グロース市場にIPOを果たしたテクノロジー企業、ベンチャーキャピタルから数十億円の資金調達をしている未上場企業、創業から間もない数名～10数名の規模の企業まで、累計2,200社の導入実績があります。「セキユリオ」の主な機能は次の通りです。

-標的型攻撃メール訓練

サイバー攻撃を想定したメール訓練ができます。20種類以上の訓練メール例や結果の自動集計でスムーズに訓練が可能です。

-eラーニング

120種類以上の教材で社員のセキュリティ学習をサポートします。テスト採点も自動集計で、受講結果をかんたんに確認できます。

-セキュリティアウェアネス

1回3分の定期テストで継続的にリテラシー向上が図れます。問題は、150問以上から自動的に配信することができます。

-社内アンケート

従業員のセキュリティルール遵守状況をアンケートで確認できます。

■ LRM 代表取締役 CEO 幸松 哲也氏よりコメント

このたび、日本の情報セキュリティ業界の成長と発展を目的として設立された「日本サイバーセキュリティファンド」の記念すべき第1号案件として、出資をお受けできることを大変光栄に思います。デジタルトランスフォーメーション（DX）が加速する現代において、情報セキュリティの重要性はますます高まっています。

しかし、その一方で、サイバー攻撃は高度化・巧妙化し、また、専門人材の不足も深刻な課題となっています。

このような状況に対し、日本の情報セキュリティ業界全体を牽引し、そのエコシステムを強化していくことを目指す本ファンドは、まさに時代が求める取り組みだと感じています。

LRMはこれまで、情報セキュリティ教育クラウド「セキュリオ」と、専門家によるコンサルティングサービスの両輪で、企業のセキュリティ文化の醸成と、情報セキュリティレベルの向上に貢献してまいりました。

今回の出資は、私たちの事業成長を加速させるだけでなく、本ファンドの投資先となる他のセキュリティ企業との連携を可能にし、日本の情報セキュリティ業界全体の底上げに貢献していく、という大きな使命を帯びていると認識しております。

LRMは、日本サイバーセキュリティファンドの第1号案件としての責任と期待を胸に、今後も「セキュリオ」の革新と普及、そして高度なコンサルティングサービスの提供に邁進してまいります。

そして、ファンドの目指す「日本の情報セキュリティ業界の成長と発展」に貢献できるよう、事業を通じて全力を尽くす所存です。

今後も、私たちの取り組みにご期待ください。

■会社概要

社名 : 株式会社SIGグループ
代表者 : 代表取締役社長 石川 純生
設立 : 1991年12月
URL : <https://www.sig-group.co.jp>

社名 : LRM株式会社
代表者 : 代表取締役CEO 幸松 哲也
設立 : 2006年12月
URL : <https://www.lrm.jp/>

■本リリースに関する報道お問合せ先

株式会社SIGグループ 経営企画室

お問合せフォーム <https://www.sig-group.co.jp/contact/ir-form/>